

12 2006年の通商関連の主な動き

月	日	主な動き	内容・決定事項等
1	1	東京三菱銀行とUFJ銀行が合併	当初予定の05年10月1日から3ヵ月後に合併が実現
	4	改正独禁法施行	談合（カルテル）抑止など独禁法の執行力を強化
	11	05年輸入車新規登録台数 （日本自動車輸入組合発表）	26.8万台（前年比1.7%減）、うち外国メーカー車24.9万台（同2.1%増）
	11	05年末の外貨準備高	8,469億ドル（参考：06年11月末、8,969億ドルと過去最高を更新）
	12	05年工作機械受注 （日本工作機械工業会発表）	3年連続して前年を上回る1兆3,624億円（前年比10.2%増）
	20	通常国会召集	会期は、6月18日までの150日間
	20	米国産牛肉の輸入再停止を決定	05年12月に輸入解禁した輸入牛肉に脊柱が混入していたため再停止
	23	WTO（世界貿易機関）新ラウンド農業交渉、再開（ジュネーブ、～27日）	
	25	世界経済フォーラム（WEF）年次総会（スイス・ダボス、～29日）	中国の存在感高まる
	26	05年通関統計	貿易黒字は8.8兆円と4年振り減少。BRICs向け輸出入が前年比2ケタの伸び
	27	韓国製半導体（ハイニックス半導体）に対し相殺関税を初めて発動	27.2%の相殺関税を賦課。期間は2010年12月31日まで
	30	05年自動車輸出概況 （日本自動車工業会発表）	四輪車輸出台数は505.3万台、前年比1.9%増と4年連続増。うち、乗用車は436.3万台で前年比3.5%増
	31	第139回OPEC臨時総会（ウィーン）	イラクを除く10カ国の公式の生産枠2,800万バレル/日を据え置き
	31	米FRB、FF（フェデラルファンド）金利の誘導目標を引き上げ	連続14回目となる0.25%引き上げで年4.5%に
	31	グリーンズパンFRB議長引退	同議長は1987年8月11日就任以来、2006年1月末まで議長職を継続
	31	米ブッシュ大統領、一般教書演説	
2	1	米FRB新議長にベン・バーナンキ前CEA（大統領経済諮問委員会）委員長が就任	中・印は新たな競争相手、また、石油依存からの脱却を急ぐと強調
	6	米予算教書を発表	ブッシュ大統領がバーナンキ氏を2005年10月24日に指名済み
	9	日本・豪州EPA（経済連携協定）政府間共同研究第2回会合（～10日）	国防費6.9%増、財政赤字は最大の4,230億ドルへ
	9	日・インドネシアEPA（経済連携協定）第3回交渉（ジャカルタ、～14日）	
	10	05年機械受注統計	
	10	トリノ（伊）冬季五輪（～26日）	27.6兆円（前年比4.4%増）、うち外需は10.0兆円（同8.5%増）
	10	米国05年の貿易収支速報発表	日本の金メダル獲得はフィギュアスケートの荒川選手のみ
	10	G8財務相・中央銀行総裁会議（モスクワ、～11日）	貿易収支赤字は7,668億ドルと過去最高。サービスを含むと7,256億ドルの赤字
	13	05年国際収支統計	原油高、鳥インフルエンザ、WTO交渉などが主要議題
	13	米大統領経済報告	経常収支黒字は18.0兆円（前年比3.1%減）。所得収支黒字は11.4兆円と過去最高
	17	日本の2005暦年のGDP速報値	日本の国内投資拡大に強い期待感を表明
	23	日・チリEPA第1回交渉（東京・外務省、～24日）	実質GDPは2.8%増（確報値は2.7%へ修正）と2004年の2.3%を上回った
	27	日本・スイスEPA政府間共同研究会第2回会合（スイス・ベルン、～28日）	日チリ双方の関心分野を表明、以後協議を継続。

月	日	主な動き	内容・決定事項等
3	2	欧州中央銀行 (ECB) 理事会、金利を引き上げ	二国間の貿易総額は 60 億ドル
	5	第 10 期中国全人代第 4 回会議 (北京、～ 3 月 14 日)	
	8	第 140 回 OPEC 定例総会 (ウィーン)	
	14	05 年米国経常収支	
	23	産業構造審議会、「新経済戦略」中間とりまとめ	
	27	06 年度政府予算成立	
	28	米 FRB、FF 金利の誘導目標を引き上げ (FOMC = 連邦公開市場委員会は 27～28 日)	
	31	規制改革・民間開放推進 3 ヶ年計画改定閣議決定	
4	1	トーマンと豊田通商が経営統合	政策金利を 0.25% 引き上げ、年 2.5% とすることを決定
	2	タイ総選挙	
	4	05 年 OECD 開発援助委員会 (DAC) 加盟国の ODA (政府開発援助) 供与額	「第 11 次 5 ヶ年計画 (2006 年～2010 年)」(年平均 7.5% 成長) を採択 生産枠 2,800 万バレル/日を維持することで合意
	5	サウジアラビアのスルタン皇太子殿下が来日 (～ 7 日)	
	6	05 年度輸入車新規登録台数 (日本自動車輸入組合発表)	経常収支赤字は 8,049 億ドル (前年比 20.5% 増) と過去最高を記録 2015 年までの成長率見通し、実質年 2.2% は可能
	10	日・ASEAN の第 3 回 EPA 交渉 (東京、～ 12 日)	一般会計総額は 79.7 兆円、05 年度当初予算比 3.0% 減。国債新規発行高は 29 兆 9,730 億円と 5 年ぶりに 30 兆円割れ
	11	06 年版「不公正貿易報告書」公表	
	17	日・インドネシア EPA 第 4 回交渉 (東京、～ 21 日)	15 回連続となる 0.25% の利上げで、FF 金利は年 4.75% に
	19	05 年度工作機械受注 (日本工作機械工業会発表)	国税納付クレジットカード解禁や駐車違反車両レッカー移動業務の民間開放など打ち出す 存続会社は「豊田通商」
	19	IMF、世界経済見通し (春季) を発表	
	20	05 年度通関統計	2 月 24 日に下院解散。4 月 4 日、タクシン首相は一時辞任を表明
	20	米中首脳会談 (ワシントン D. C.)	日本は 131.0 億ドルで米国 274.6 億ドルに次ぎ、第 2 位
	21	G7 財務相・中央銀行総裁会議 (ワシントン D. C.)	4 月 7 日、日本貿易会を含む経済 4 団体共催の歓迎屋敷会
	22	IMF・世銀春季総会 (ワシントン D. C.)	
	27	05 年度パソコン出荷台数 (電子情報技術産業協会発表)	27.0 万台 (前年度比 0.4% 増)、うち外国メーカー車 25.2 万台 (同 2.9% 増)
	27	日・星 (シンガポール) EPA 第 1 回・協定見直し交渉	8 ヶ月ぶりに交渉再開

月	日	主な動き	内容・決定事項等
5	10	米 FRB、FF 金利の誘導目標を引き上げ	副題は「WTO 協定から見た主要国の貿易政策」。報告書発表は 15 回目 総額 1 兆 3,811 億円（前年度比 6.2% 増）、うち輸出は 6,367 億円（同 9.2% 増） 06 年の実質成長率は世界経済 4.9%、米国 3.0%、日本 2.8% の見通し 貿易黒字は 7.9 兆円（前年度比 30% 減）と 4 年ぶりに減少 ブッシュ・胡錦濤会談で、米国は人民元切り上げを要請。北朝鮮・イラン核は平和解決で一致 原油価格高騰の影響を懸念、産油国に増産投資要請 出荷台数 1,397 万台（前年度比 10% 増）、うち輸出は 111 万台（同 16% 増） 日・星 EPA 協定は 2002 年 11 月 30 日に発効済み
	15	05 年度国際収支統計速報	
	15	05 年度機械受注統計	
	18	日・チリ EPA 第 2 回交渉（サンチャゴ、～ 24 日）	
	19	日本の 2005 年度の GDP 速報値	
	20	日・GCC（湾岸協力会議）の EPA 交渉準備会合（～ 21 日）	
	29	日本・スイス EPA 政府間共同研究第 3 回会合（東京、～ 30 日）	
6	1	第 141 回 OPEC 臨時総会（カラカス）	連続 16 回目となる 0.25% の利上げで、FF 金利は年 5.0% に 経常収支黒字は 3 年連続、過去最高を更新し 18.9 兆円（前年度比 3.9% 増） 29.0 兆円（前年度比 9.3% 増）、うち外需は 11.1 兆円（同 19.0% 増） 実質 GDP は 3.0%（その後 3.3% へ上方修正、12 月初めの確報は 2.4% に下方修正）
	9	サッカー、ワールドカップドイツ大会（ミュンヘンで開催）	
	20	陸上自衛隊、イラク撤収を正式決定	
	21	米牛肉輸入再開で日米合意	
	25	鉄鋼メーカーのアルセロールがミタル・スチールとの合併を決定	
	26	日・ブルネイ EPA 交渉第 1 回会合（東京、～ 30 日）	
	28	日・ASEAN 包括的経済連携（CEP）協定第 4 回会合（ジャカルタ、～ 29 日）	
	29	OECD が賄賂に関する対日報告書を発表	
	29	米 FRB、FF 金利の誘導目標を引き上げ（FOMC は 28～ 29 日）	
	29	日米首脳会談（ワシントン D. C.）	
	29	WTO 閣僚会議（ジュネーブ、～ 7 月 2 日）	

月	日	主な動き	内容・決定事項等
7	5	北朝鮮、ミサイルを発射	イラクを除く10ヵ国で現行2,800万バレル/日の生産枠を据え置き
	6	06年上半年期(1-6月)輸入車新規登録台数(日本自動車輸入組合発表)	7月9日にベルリンで決勝戦(イタリアが優勝)
	10	日本・チリEPA交渉第3回会合(東京、~14日)	その後、7月7日、第一陣が撤収
	13	日本・マレーシアEPAが発効	事前査察などを条件(8月3日、日本向け出荷が始まる)
	14	日銀、ゼロ金利解除(金融政策決定会合は13~14日)	世界第2位と第1位の鉄鋼メーカーが合併。アルセロール・ミタルに
	15	G8サミット(主要国首脳会議)(サンクトペテルブルク、~17日)	同国は日本への天然ガス、石油の安定供給国
	17	日印EPAの交渉開始へ準備を始めることで両国が合意(サンクトペテルブルク)	
	26	06年上半年期(1-6月)通関統計	日本企業が外国政府関係者に賄賂を贈る行為を防ぐ対策が不十分とする内容
	31	日・ASEAN包括的経済連携協定交渉第5回会合(ジャカルタ、	連続17回目となる0.25%の利上げで、FF金利は年5.25%に
8		~8月1日)	ブッシュ大統領と小泉首相、「新世紀の日米同盟」とする共同声明を発表 7月2日、対立深く物別れに終わり、年内交渉期限までの新ラウンド決着は困難に

月	日	主な動き	内容・決定事項等
9	2	日・インドネシア EPA 交渉第 5 回会合（インドネシア・バリ島、～ 5 日）	北朝鮮が同日未明から日本海に向け、ミサイル 7 発を発射 13.6 万台（前年同期比 0.5% 増）、うち外国メーカー車 12.8 万台（同 2.0% 増）
	3	ECB（欧州中銀）、利上げ	
	7	日・ブルネイ EPA 交渉第 2 回会合（ブルネイ、～ 11 日）	2005 年 12 月 13 日調印済みの協定が発効。わが国 3 番目の EPA 無担保コール翌日物金利の誘導目標を 0.25%、公定歩合を 0.4% にそれぞれ引き上げ ロシアで初めてのサミット。エネルギー、貿易、アフリカ、大量破壊兵器不拡散など討議
	8	米 FRB、FOMC を開催	
	10	06 年上半年期（1-6 月）国際収支統計速報	
	10	06 年上半年期（1-6 月）米貿易収支（サービスを含む国際収支ベース）	
	15	小泉首相が靖国神社を参拝	
	23	日 ASEAN 経済担当相会合	
10		（クアラルンプール）	貿易黒字は 3.4 兆円、前年同期比 24% 減
	28	日本・チリ EPA 交渉第 4 回会合（サンチャゴ、～ 9 月 1 日）	

月	日	主な動き	内容・決定事項等
11	9	日比 EPA 調印（ヘルシンキ）	
	11	第 142 回 OPEC 定例総会（ウィーン）	
	14	IMF、世界経済見通し（秋季）を公表	市場介入金利を 0.25% 上げ、年 3.0% に。同時に英中銀も 0.25% の利上げ
	16	G7 財務相・中央銀行総裁会議（シンガポール）	
	19	タイでクーデター	6 月の過去 17 回連続引き上げの後、FF 金利を現行 5.25% に据え置くと発表
	20	自民党総裁選	
	20	米 FRB、FOMC を開催	経常黒字 9 兆 4,377 億円、前年同期比 7.8% 増。所得収支黒字は 7 兆 317 億円で同 29.9% 増
	21	GCC と FTA 交渉開始（東京）	貿易赤字 3,839 億ドル（前年同期比 12.8% 増）で過去最高
	22	日智（チリ）EPA 交渉、大筋合	
12		意（サンチャゴ）	中国・韓国の両国はそれぞれ日本大使を呼び抗議
	26	臨時国会召集	二階経産相（当時）、16 カ国による東アジア EPA 構想を正式提案